

■菅沼貞風 歴史家。独力で「平戸貿易志」著し、本格的学術書たる卒論「大日本商業史」で衝撃与えるも、コレラで夭折。

すがぬまていふう

薩摩藩士密航1865＝ 肥前国平戸に平戸藩士の家に生まれる。名は「さだかぜ」とも読む。

明治維新・・1868＝ 3歳：

明治6年政変 1873＝ 8歳：

佐賀の乱・・1874＝ 9歳：

・・・・・1880＝15歳：_旧藩主松浦家の猶興書院に学びながら、

明治14年政変1881＝16歳：_長崎県北松浦郡雇出仕となり、大蔵省関税局貿易沿革史の材料として平戸貿易の沿革を調査、

岩倉具視没・1883＝18歳：*これを「平戸貿易志」として編集した。

秩父事件・・1884＝19歳：_松浦家の援助で、東京大学文学部付属古典講習科漢書課に入学、中村正直・三島毅(中洲)らに学ぶ。

かたわら専修学校(専修大学の前身)で経済学を聴講するとともに、_東大所蔵の古今の書籍を渉猟して、

初の対等条約1888＝23歳：*卒業論文「大日本商業史」を提出して帝国大学を卒業。直後に高等商業学校(一橋大学の前身)に勤務するうち、福本日南と国威伸張のための外交・貿易の併進策で意気投合し、

帝国憲法発布1889＝24歳：

帝国議会始・1890＝25歳：*南洋発展策の一環として、日南とフィリピンに赴き実況視察したが、コレラのためマニラで急死した。遺著「大日本商業史」(付「平戸貿易志」1892・東邦協会)は、実践的志向を秘めた貿易史的・経済史的な本格的学術書で、田口卯吉が激賞した。